

NPO 法人がんサーネットジャパン (CNJ)  
2007 年度事業報告  
(2007 年 4 月～2008 年 3 月)

\*\*\*\*\*  
NPO 法人がんサーネットジャパン  
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-5-5 アルモニー御茶ノ水 302 号  
電話：03-5684-1925 ファックス：03-5684-1926  
文責：事務局長：柳澤昭浩 (E-mail:[samurai@cancernet.jp](mailto:samurai@cancernet.jp))  
\*\*\*\*\*



NPO 法人がんサーネットジャパン ホームページ：<http://www.cancernet.jp/>  
NPO 法人がんサーネットジャパン 公式ブログ：[http://blogs.yahoo.co.jp/cancernet\\_japan](http://blogs.yahoo.co.jp/cancernet_japan)

- NPO 法人キヤンサーネットジャパン (CNJ) -  
2007 年度事業報告

【CNJ の沿革】

【CNJ の mission と vision】

【CNJ 組織概要】

【CNJ の主要事業】

【サポーター団体・企業】

【今後の予定】

私たち NPO 法人キヤンサーネットジャパンの活動は、私たちの mission・vision、活動に賛同頂ける個人様・団体様・企業様のご寄付によって運営されています。

NPO 法人キヤンサーネットジャパンの活動・事業に、ご理解、ご賛同頂けましたら、是非広く皆様のご寄付を賜りたく、ここに謹んでお願い申し上げます。

また同時に、私たちの活動をご支援頂ける個人様・団体様の会員も募集しております。私たちの活動にご関心のある個人様・団体様のご入会も併せてお願い申し上げます。

ご寄付の申込み：<http://www.cancernet.jp/donation.php>

ご入会の申込み：<http://www.cancernet.jp/joinus.php>

## 【CNJ の沿革】

1991年6月、南雲 吉則（前代表・現顧問）、吉田 和彦（現理事長）が、米国国立衛生研究所発行の乳がん患者向けパンフレットを翻訳自費出版し無料配布を開始したのが当団体の始まりです。当時は、インフォームド・コンセント、セカンド・オピニオンという言葉すら一般的でなかった日本において、がん（乳がん）患者自らが、科学的根拠に基づく、正確な知識・情報を得られる書籍はなく、先駆的活動として注目されました。翌1992年には、それら10冊の冊子をまとめた書籍「あなたと乳がん」を出版し、全国に無償配布しました。その後、「乳がんの発見」（祥伝社刊）などの書籍を出版・販売開始しました。

それらの出版の収益を元に、米国国立がん研究所が提供するNCI PDQ日本語訳のファックスでの提供（キヤンサーファックス）、電話・ファックス・メールでのボランティア医療者によるがん医療相談（セカンドオピニオンコール）、インターネット上におけるNCI PDQの公開など新たな活動も開始しました。また、2000年には、現在の主要事業の一つである患者・一般の方を対象とした「EBMセミナー」を開始しました。

2001年8月には、東京都よりNPO（特定非営利活動法人）の認証を取得し、翌2002年には私たちのホームページが日経インターネットアワードを受賞するに至りました。

その後、日本におけるがん医療環境の変化を鑑み、十分な情報がない中、科学的根拠に基づく正確な情報を発信する事から、今後は、増え続ける情報の中、科学的根拠に基づく正確な情報へ繋げることが私たちの使命・役割とし、2007年1月よりミッション・ビジョンを新たにし、東京御茶ノ水に事務局を開設、専属スタッフにより新生キヤンサーネットジャパンとしての活動を開始しました。

## 【CNJ の mission と vision】

- ・CNJのMission (<http://www.cancernet.jp/mission.php>)

私たちのミッション（使命）は、様々な活動を通じて、各種がんにおける標準的治療の確立と、関連・協力施設による標準的治療の提供・実施、及びその普及・啓発・教育を行い、多くの市民・がん患者が、最良のがん医療にたどり着き、患者中心の医療の普及に資する事です。

また、患者・国民の立場に立ち、日本のがん医療における問題点も明らかにし、広く問題提起する事により、がん医療の問題解決にも貢献します。

参考：

- ・CNJのVision (<http://www.cancernet.jp/vision.php>)

私たちのビジョン（夢）は、私達のミッション（使命）に賛同し、援助、活動する組織・個人、全てに有形、無形な利益をもたらすNPO法人である事を目指します。

また、日本における医療・がん医療に関与するNPO法人の多くは、概して小規模で、経済的基盤も十分でないため、社会への貢献、影響は小さいものとなっています。

キヤンサーネットジャパンは、これまでの活動の歴史・経験を生かし、時代の変化に対応し、日本のがん医療に貢献するため、新しい日本における医療NPOのモデルを構築します。

## 【CNJ 組織概要】

### ・理事会

理事長：吉田 和彦（東京慈恵会医科大学青戸病院 教授・副院長・診療部長）  
理事：岩瀬 哲（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部 副部長）  
理事：柳澤 昭浩（事務局長・事業戦略担当）  
理事：川上 祥子（広報・教育事業担当）  
理事：内田 絵子（NPO法人ブーゲンビリア理事長）  
監事：小西 敏郎（NTT東日本関東病院 副院長）  
顧問：南雲 吉則（ナグモクリニック総院長）

### ・事務局専属スタッフ

事務局長・事業戦略担当：柳澤 昭浩  
広報・教育事業担当：川上 祥子  
イベント事業担当：土屋 美也子  
渉外・教育事業担当：藤原 麻子  
事務局運営担当：高田 陽子

・アドバイザーボードメンバー

- 有吉 寛 (愛知県がんセンター愛知病院)
- 青谷 恵利子 (北里研究所)
- 勝俣 範之 (国立がんセンター中央病院)
- 小西 敏郎 (NTT 東日本関東病院)
- 滝口 裕一 (千葉大学医学部)
- 円谷 彰 (神奈川県立がんセンター)
- 坪井 正博 (東京医科大学)
- 藤原 恵一 (埼玉医科大学)
- 向井 博文 (国立がんセンター東病院)
- 渡辺 古志郎 (横浜市立横浜市民病院)
- Robert L. Coleman (M.D Anderson Cancer Center)

**【CNJ の主要事業】**

CNJ の mission に基づき、vision の実現に向けて、以下の主たる 3 事業を展開しています。このコンセプトは、科学的根拠に基づく正しい情報が重要である事を普及啓発し、これを実施する人材を養成し、更にそれらの人材が活躍でき、患者・家族・一般の方々が利用できる場を提供するというものです。

上記 3 事業に加え、これらを加速させる活動、すなわち医療政策提言、他団体・企業との連携も積極的に行っています。

1. 科学的根拠に基づくがん医療情報の普及・啓発事業
2. 科学的根拠に基づくがん医療情報を提供する人材養成教育事業
3. 科学的根拠に基づくがん医療情報を提供するがん情報ステーション事業・がん啓発草の根活動
4. その他、mission に基づくがん医療政策提言等の事業
5. mission に基づく他団体、他企業との協業

1. 科学的根拠に基づくがん医療情報の普及・啓発事業

CNJ では、がん種別、テーマ別に、原則毎月 1 回、CNJ がん医療セミナーを開催しています。CNJ がん医療セミナーの基本コンセプトは、より多くの方々が最良のがん医療にたどり着くために、患者・家族・一般の方々だけでなく、医療者、関連企業、報道関係者等との情報・問題の共有が重要と考えており、どのような立場の方にもご参加頂ける公開（オープン）セミナーとしています。2007 年 4 月以降の開催セミナーは、以下の通りです。

<CNJ 主催イベント>

	タイトル	開催場所
07/04/08	「欧米のがん治療標準薬は日本で本当に使えないの？」 ～抗がん剤医療の問題を考える上で知っておくべき事～	東京ウィメンズプラザ
07/08/05	「もっと知って欲しい女性のがん」	東京ウィメンズプラザ
07/10/07	「緩和ケア：体と心の痛みはどう対処するか？」	東京ウィメンズプラザ
07/11/04	「進歩する大腸がんの治療：現状と将来」	東京ウィメンズプラザ
08/01/20	インターネットで、信頼できるがん情報を	東京ウィメンズプラザ

<共催イベント>

07/09/30	肺がん市民公開フォーラム 「あなた・わたし達が知っておくべき肺がんについて」	東京ウィメンズプラザ
07/12/02	第 3 回東京乳がん市民公開フォーラム 「科学的根拠に基づく乳がん・・・とは？」	東京国際フォーラム
08/02/17	ドラッグ・ラグ 「私たちが知っておくべきこと・できること」	東京ウィメンズプラザ
08/03/15	「うつ・鬱・デプレッション」を考え、元気になる Power Up Make Up セミナー～ちょっとだけ凹んでいるあなたへ～	東京ウィメンズプラザ
08/05/18	3 団体共催がん医療セミナー もっと知って欲しい乳がんのこと	大阪国際交流センター

<後援団体・企業>※後援団体・企業については、各イベントで異なります。

厚生労働省・東京都・日本対がん協会・日本臨床腫瘍学会・日本癌治療学会・日本緩和医療学会・米国研究製薬工業協会・日本製薬工業協会・欧州製薬団体連合会・日本医療政策機構・財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会 ONCOLOGY 部会・財団法人先端医療振興財団・NPO 日本メディカルライター協会・NPO 日本臨床研究支援ユニット・NPO 法人がん患者団体支援機構・NPO Run for the Cure Foundation  
アメリカンファミリー生命保険会社・エレクトラ株式会社・がんサポート等

参考：<http://www.cancernet.jp/event.php>

## 2. 科学的根拠に基づくがん医療情報を提供する人材養成教育事業

2007年6月15日に閣議決定された「がん対策基本計画」には、「*今後は、基本計画に基づき、国及び地方公共団体、また、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、学会、患者団体を含めた関係団体及びマスメディア等（以下「関係者等」という。）が一体となってがん対策に取り組み、がん患者を含めた国民が、進行・再発といった様々ながんの病態に応じて、安心・納得できるがん医療を受けられるようにするなど、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会」の実現を目指すこととする。*」と言及されています。すなわち、これまで行政、医療者主体で進められてきた「がん対策推進」に、がん患者を含めた国民他、様々な立場の団体・関係者が関与するよう求められています。

今後、がん患者・家族のニーズに応じた「がん医療対策」を進める上においても、また実際に、がん患者・家族が求め、提供されるべき医療情報・サービスを提供するためにも、医療者のみならず、「がん対策推進」に関する者が、「*各がんの病態、標準的治療法等がん診療に係る一般的な医療情報*」等についての知識を有する事は必要最低限の要件となると思われます。

このような背景より、NPO 法人キャンサーネットジャパンでは、「がん医療対策推進」に関する者（関わろうとする者）、またこれまでの活動背景より、自身の体験をもとに乳がん領域で関わりを持つ者（持とうとする者）を対象に、科学的根拠に基づいた良質で、信頼性の高いがん医療情報を理解し、またその時々最新のがん医療情報にアクセスし、かつそれらの医療情報を患者の言葉に換える事のできる「認定がん情報ナビゲーター（CIN）」、「乳がん体験者コーディネーター（BEC）」の人材養成講座を開講しています。

2007年4月には、CIN、BEC 共に東京校 25名の定員で開講し、2007年10月には両講座共に、東京・大阪をテレビ会議で中継し、東京校 30名、大阪校 10名で第二期を開講し、2008年4月から第三期を開講中です。

参考：CIN：<http://www.cancernet.jp/cin.php> BEC：<http://www.cancernet.jp/bec.php>

## 3. 科学的根拠に基づくがん医療情報を提供するがん情報ステーション事業・がん啓発草の根活動

上記、両講座修了者を中心に、科学的根拠に基づくがん患者・家族に必要な医療情報が提供できる場所「CNJ がん情報ステーション」を開設すべく、2008年5月現在、医療専門職（看護師）の助言・指導の下、現在、2008年夏～秋の活動開始に向けて、鋭意準備中です。

「CNJ がん情報ステーション」では、医療者（看護師）の指導の下、BEC・CIN が「がん医療情報」に関する勉強会等を提供し、がん患者・家族にとって有益な情報を、インターネット、既存の有益な書籍・冊子を提供できる場所にする予定です。

## 4. その他、missionに基づくがん医療政策提言等の事業

- ・ パブリックコメント等での提言

国が策定する「がん対策基本計画」、都道府県が策定する「都道府県がん対策推進計画（等）」に、CNJ 理事より複数のパブリックコメントを提出しました。

- ・ 都道府県がん対策推進計画への参画

山梨県の要請を受け、山梨県がん対策推進協議会の委員として、NPO 法人キャンサーネットジャパンより参加致しました。

- ・ がん医療関係者への提言

海外で広く使用される抗がん剤、ワクチン等の日本での承認の遅れは「ドラッグ・ラグ」、「ワクチン・ラグ」などと呼ばれ、がん患者・家族になり初めて直面し、意識する大きな問題であり、有益な薬剤の早期承認、適応症追加、標準的治療の普及を求め、各方面に提言書を提出しました。

参考：[http://www.cancernet.jp/pdf/proposal\\_document\\_dragrag.pdf](http://www.cancernet.jp/pdf/proposal_document_dragrag.pdf)

#### 5. missionに基づく他団体、他企業との協業

- 財団法人先端医療振興財団：<http://www.ibri-kobe.org/>  
財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センターが公開・提供する「がん情報サイト」の普及のための業務提携。  
「がん情報サイト」：<http://cancerinfo.tri-kobe.org/>
- 財団法人パブリックヘルスリサーチセンター：<http://www.phrf.jp/jpop/>  
財団法人パブリックヘルスリサーチセンターが公開・提供する患者・家族・医療者向けの Website への作成協力。  
<http://jpop-voice.jp/cancerpain/index.html>

#### 【サポーター団体・企業】

NPO 法人化以降、ご寄付・ご支援（金銭・物品寄付）頂いた企業（五十音順）

- アステラス製薬株式会社：<http://www.astellas.com/jp/>
- アストラゼネカ株式会社：<http://www.astrazeneca.co.jp/>
- アメリカンファミリー生命保険会社（アフラック）：<http://www.aflac.co.jp/>
- 株式会社an：<http://www.beauty-an.jp/>
- 株式会社イプサ：<http://www.ipsa.co.jp/index.htm>
- エイペックスメディカル株式会社：<http://www.apexrt.co.jp/index.htm>
- エレクトラ株式会社：<http://www.elekta.com/>
- 科研製薬株式会社：<http://www.kaken.co.jp/>
- 金原出版株式会社：<http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>
- 協和発酵株式会社：<http://www.kyowa.co.jp/>
- キリンファーマ株式会社：<http://www.kirinpharma.co.jp/>
- グラクソ・スミスクライン株式会社：<http://glaxosmithkline.co.jp/>
- サノフィ・アベンティス株式会社：<http://www.sanofi-aventis.co.jp/live/jp/ja/>
- 塩野義製薬株式会社：<http://www.shionogi.co.jp/>
- 大鵬薬品株式会社：<http://www.taiho.co.jp/>
- 第一三共株式会社：<http://www.daiichisankyo.co.jp/>
- 大日本住友製薬株式会社：<http://www.ds-pharma.co.jp/>
- 田辺三菱製薬株式会社：<http://www.mt-pharma.co.jp/>
- 中外製薬株式会社：<http://www.mt-pharma.co.jp/>
- 株式会社DHC：<http://www.dhc.co.jp/main/main.jsp>
- 日本化薬株式会社：<http://www.nipponkayaku.co.jp/>
- 日本イーライリリー株式会社：[http://www.lilly.co.jp/CACHE/index\\_index.cfm](http://www.lilly.co.jp/CACHE/index_index.cfm)
- ノバルティスファーマ株式会社：<http://www.novartis.co.jp/>
- バイエル薬品株式会社：<http://www.bayer.co.jp/bgj/index.html>
- 萬有製薬株式会社：<http://www.banyu.co.jp/>
- ファイザー株式会社：<http://www.pfizer.co.jp/pfizer/index.html>
- ブリストル・マイヤーズ株式会社：<http://www.bms.co.jp/>
- メドー産業：<http://www.medo.co.jp/>
- メルクセローノ株式会社：<http://www.serono.co.jp/index.jsp>
- 株式会社ヤクルト本社：<http://www.yakult.co.jp/>
- ヤンセンファーマ株式会社：<http://www.janssen.co.jp/inforest/public/home/>

#### 【今後の予定】

##### 1. 科学的根拠に基づくがん医療情報の普及・啓発事業

現在、首都圏エリアを中心にイベントを企画・開催していますが、今後は関西エリア（2008年5月18日に初めての大阪でのイベントを開催予定です）等での開催も計画しています。また、インターネットを利用し、直接会場に来場する事のできない方々への提供も考慮しています。

また、地域の患者会・サポートグループが開催する有益なイベントに対しては、企画・運営のノウハウの提供、資金援助にも取り組もうと考えています。

2. 科学的根拠に基づくがん医療情報を提供する人材養成教育事業

これまで同様の開講を予定していますが、コ・メディカル、企業の教育講座としてのニーズの高いCIN（がん情報ナビゲーター養成講座）については、民間企業との協業を考慮し、開催規模、開催場所（東京・大阪以外での開講）に向け調整中です。

3. 科学的根拠に基づくがん医療情報を提供するがん情報ステーション事業・がん啓発草の根活動

・CNJ がん情報ステーション

東京 CNJ 事務局（東京御茶ノ水）での試験的運用（Pilot Study）を経て、ナグモクリニック内（東京大崎）、民間企業・医療機関と協業の元、各地での開設を検討・企画中です。

・がん啓発草の根活動

「がんになる前からがんを知り、イザというときには、かしこい患者に」を目指し、地域の図書館や学校と共催で、がん体験者やがん医療関係者による講演、学習会等の啓発活動を行っていきます。

4. その他、missionに基づくがん医療政策提言等の事業

がん患者会、その他疾患の患者会、サポートグループとの協業の上、「ドラッグ・ラグ」、「ワクチン・ラグ」、「デバイス・ラグ」等が解消され、海外で広く承認・使用されている医薬品・医療機器等が速やかに導入されるよう今後も情報発信、一般社会への普及・啓発、提言を行っていきます。

5. missionに基づく他団体、他企業との協業

CNJ の mission を共有できる団体・企業との連携を深め、CNJ が有する人材、ノウハウを積極的に社会還元していきます。



貸借対照表

平成 20 年 3 月 31 日 現在

( 単位 円 )

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【 流 動 資 産 】</b>	<b>【 7,844,969 】</b>	<b>【 流 動 負 債 】</b>	<b>【 3,620,184 】</b>
現 金	528,646	未 払 金	102,240
預 金	6,867,468	前 受 金	3,026,000
仮 払 金	10,725	預 り 金	421,944
前 払 費 用	378,130	未 払 法 人 税 等	70,000
未 収 入 金	60,000	負 債 合 計	3,620,184
<b>【 固 定 資 産 】</b>	<b>【 3,648,620 】</b>	純 資 産 の 部	
( 有 形 固 定 資 産 )	( 877,503 )	<b>【 株 主 資 本 】</b>	<b>【 7,873,405 】</b>
工 具 器 具 備 品	877,503	( 利 益 剰 余 金 )	( 7,873,405 )
( 無 形 固 定 資 産 )	( 2,542,542 )	[その他利益剰余金]	[ 7,873,405 ]
ソ フ ト ウ エ ア	2,542,542	繰 越 利 益 剰 余 金	7,873,405
(投資その他の資産)	( 228,575 )		
差 入 保 証 金	64,575		
敷 金	164,000	純 資 産 合 計	7,873,405
資 産 合 計	11,493,589	負 債 ・ 純 資 産 合 計	11,493,589



損益計算書

自 平成 19 年 4 月 1 日

至 平成 20 年 3 月 31 日

( 単位 円 )

科 目	金	額
【 売 上 高 】		
寄 附 金 収 入	20,904,718	
公 益 事 業 売 上 高	20,821,400	
収 益 事 業 売 上 高	1,898,052	43,624,170
【 売 上 原 価 】		
期 首 棚 卸 高	30,030	
合 計	30,030	30,030
売上総利益金額		43,594,140
【販売費及び一般管理費】		42,242,806
営業利益金額		1,351,334
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息		9,248
【 営 業 外 費 用 】		
保 証 料 償 却 費		86,100
経常利益金額		1,274,482
税引前当期純利益金額		1,274,482
法 人 税 等		70,000
当期純利益金額		1,204,482

